

愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

【地域において今後担うべき役割】（P6）

今後医療需要が増加する地域において、更なる高度急性期医療の提供体制を確立するとともに、地域医療支援病院、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センターとしての機能をより一層高めるため、その体制整備に努める。

【今後持つべき病床機能】（P6）

○高度急性期医療の対応強化

- ・高度急性期医療の提供体制を更に強化し、自医療圏内において全ての医療が提供できるような体制整備に努める。
- ・一刻を争うような急性期医療は自医療圏内で完結すべき課題であり、高度急性期医療の提供体制を充実させることで、他圏域に依存することなく応需できる体制を整備する。
- ・急性期医療の代表格である脳卒中、心筋梗塞などの虚血性疾患は、高齢者に多い疾患であり、高齢者が増加する当地域において対策を強化すべき分野として、院内の体制構築に臨む。
- ・高度急性期医療の受け皿となる地域包括ケア、回復期病棟のある病院との連携を密にし、地域全体で患者を診る体制構築に努める。

【今後の方針】(P7)

	現在 (平成29年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	250		250
急性期	499		499
回復期	0	→	0
慢性期	0		0
(合計)	749		749

【その他の数値目標】(P8)

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率 : 90%台の維持 (現在約95%)
- ・ 手術室稼働率 : 現在件数の維持 (現在約8,000件/年)
- ・ 紹介率 : 地域医療支援病院要件である65%以上の維持 (現在約70%)
- ・ 逆紹介率 : 地域医療支援病院要件である40%以上の維持 (現在約60%)

経営に関する項目

- ・ 医業収益対給与費率 : 現状通り (現状約40%)